



第 101 号

発行日 2025年3月
 紫明社会福祉協議会
 紫明各種団体連合会
 会長 柴山泰朗

連合会一年の歩み

紫明学区各種団体連合会

会長 柴山泰朗

紫明学区民の皆様におかれましては、日頃、学区の夫々の団体が行っています活動に格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

前回の紫明のひろば伝言板発行で100号の節目を迎えました。今回の101号では連合会参加団体の諸活動や内容について報告しています。夫々の団体の活動状況を理解して頂き、参加、協力できる方は奮ってご協力をお願いいたします。

紫明学区では連合会の参加団体の協力で大きな5つの活動を行っています。5月26日の北区民ふれあい祭り（清明高校グラウンド）、7月27日の紫明夏まつり（紫明校グラウンド）、9月14日の紫明敬老会（部落解放センターホール）、10月13日の

親睦大運動会（付属中学校グラウンド）、11月17日の学区防災訓練（紫明校体育館）になります。

夏まつり、敬老会は各団体から委員が集まり、実行委員会を立ち上げ、検討を重ねて実施に至りました。参加者の皆さんからはいずれも好評で、継続を希望する声が届いています。

紫明学区では大きな問題は有りませんが、高齢化が進み世帯数も年々減ってきています。連合会としては、小さい子供達から高齢者の方までが安心・安全で楽しく暮らしていけるように、各団体が協力、助け合いながら事業、活動を進めてまいります。今後とも素晴らしい紫明作りに向け、ご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。



ひな祭りのつどい

紫明社会福祉協議会

福祉委員 伊東和代

2年生の子供さんたちと一緒に折り紙の『ひな祭り』を楽しみました。大人の人達もたくさん来て下さいました。

先に、大人の人達への折り紙の特訓がありました。「ええつ、これをお子さんに教えてあげるの、そんなの覚えられないよ」と苦戦しながらも、頑張りました。2年生は2クラス合同ですので、一つの教室では出来ず、二つの教室を使いました。模様の折り紙で衣装を折り、黒の小さな折り紙で顔と頭の部分を折ります。同じ折り方でも、子供さんたちの個性で目や口を描き入れ、それぞれの違ったおひな様ができます。みんな、目を輝かせて、どんどん仕上げていきます。大人は、顔が描けないよ、と手が止まります。

「おひな様はどっちに貼るの?」

「京都式と東京式があつて、京都式はおひな様が左で、…」

どうして京都と東京でおひな様の位置が違うのでしょうか。私も聞いた話なのですが、京都では、お内裏

様は刀を差しているの、刀のほうにおひな様を置かないのです。アメリカや西欧のレディーファーストの国では女性は当然左側なのだそうです、首都が東京になって国際的になった日本では、東京のおひな様もそれに倣ったのでしょう。

色ガミを切ったひし餅を台紙に置き、桜の花をちりばめて貼ると、みんなの素敵なおひな様ができました。

♪お内裏さまとおひなさま

二人並んですまし顔

最後に「うれしいひなまつり」の歌を、子どもたちと一緒に大合唱して終わりました。

1年間の感謝

紫明市政協力委員連絡協議会

会長 吉村三男

米不足と米価高騰が生じた令和6年度も残り僅かとなりました。学区



民の皆様には市政協力の業務に御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

市政協力委員には行政とのつなぎ役があります。今年度にお聞きしました6点を京都市へ申し上げてきました。①歩行通行の支障物、②ゴミ捨て場所の対策、③通行規制の遵守対策、④歩道等規制線の復旧、つきましては迅速に対応を頂きました。⑤紫明せせらぎ公園の通り抜け開放、⑥町内会未加入の増に対する総合的な対応につきましては難しいとの事でありました。これら2点につきましては年度末総会時にご報告し相談してまいります。

令和7年度には北区政70周年記念事業に加えて国勢調査や参議院選挙もあります。皆様には引き続き御協力をお願い申し上げます。

防災の授業を担当して

紫明学区自主防災会

会長 岡 本 良 一

2月13日11時から1時間余り、紫明小学校3年生を対象に防災の授業をする時間をいただき、講師として教壇に立たせていただきました。

どんな教材で授業したらいいのか悩みましたが、大した知識もない中



かまどベンチ

で普段の活動で得たものをもとに出来るだけ平易に話を進めようと思いました。

とにかく元気なクラスですよ、と担任の先生から聞いていた通りスタート並みの大歓迎で、緊張の糸が解けました。初めに自己紹介もかねて自主防災会の活動について話しました。特に安全安心の紫明学区を作るために防災訓練や、夜回りをしているお話をしました。

今回の授業で子供たちに学んでほしいかったのは防災と減災についてですが、特に減災については、今日のメインテーマに据えて話をしようと思いました。そこで日本で発生して

いる災害について紹介し、特に阪神淡路大震災や東日本大震災、そして子供たちも記憶に新しい能登半島地震を紹介して多くの犠牲者が出ていることを伝えました。そして今後発生が予想される南海トラフ大地震に備えるため、特に減災について以下の7項目に分けて、できるだけ平易に話すようにしました。

- ①地震に強い家
- ②家具の固定
- ③備蓄品（飲料水・保存食・懐中電灯等々）
- ④地域の避難場所（紫明小学校）
- ⑤家族との話し合い
- ⑥自助と共助
- ⑦地域とのつながり

特に⑤家族との話し合いについては、家に帰ったら必ずご家庭のみなさまと話し合ってほしいことを強調しました。

続いて避難場所である紫明校に設置されているマンホールトイレ、かまどベンチ、保存食やテント等が保管されている南校舎3階の教室等を見学しました。子供たちも初めて知るものばかりで、学校に羊かんがあつたんや、とか、マンホールがトイレになるの？と驚くやらはしゃぐやらしながら楽しく学習してくれました。最後に教室に戻ってから意見

交換をしました。質問攻めにあつてタジタジになりながらも楽しく授業を終えることができました。

後日、担任の先生から子供たち全員の感想文をいただきました。その中で特に多かったのが、備蓄品を備えておかないといけないというものでした。分かってくれたんや、とかうれしくなりました。ご家庭のみなさまも子供たちと一緒に、たまには防災・減災について話し合いをしていただければ幸いです。

紫明小学校3年生のみんな、いい子ばかりやった。こんなボケ老人の話をしっかり聞いてくれてありがとう。本当に楽しかったよ。

子ども達から学ぶ

北少年補導委員会紫明支部

支部長 富田美智子

日頃より北少年補導委員会紫明支部の活動にご支援ご協力いただき誠にありがとうございます。2月2日に委員研修会として、京都市市民防災センターを見学しました。災害時の地震・強風・火事の煙りなど貴重な体験をする事ができ、学び多い見学会となりました。これで令和6年度の行事を無事に終了する事が出来



紙飛行機大会

ました。ご協力いただきました方々に感謝申し上げます。

1年を振り返り、子ども達と関わらせて頂く中で、子ども達から学ぶ事が沢山ありました。「そうなんや」「すごいなあ」「さすがやね」と感激です。特に「紫明ふれあいまつり」では、もの作りコーナー・とんとんで紙飛行機大会とチャレンジ旺盛な子ども達の意欲に感動いたしました。少年補導担当の醍醐味ですね。これからも成長を願い寄り添える大人でありたいと思っています。地域の皆様には、何かと少年補導ではお世話になります。引き続き子ども達の安心安全な地域づくりに、ご協力を宜しく願います。

すこやかフェスティバル

紫明社会福祉協議会

副会長 井上富士子

紫明小学校4年生の総合的学習（福祉の学習）の一環として、「地域の高齢者との交流」について子どもたちが自分達にできる事を考え、とりわけ地域の人たちに喜んで頂き笑顔になって頂く為のイベント「すこやかフェスティバル」が、社会福祉協議会の行事「健康すこやか学級」に合わせて企画・開催されました。地域のすこやかメンバー約20名が参加しました。4年生との交流会は今回が初めてとなります。

私達は、この交流が授業の一環と聞いていたので、緊張しながらも教室に入ってみました。そこは何かと驚きの、子どもたちが考えたお楽しみゲームやクイズ・遊びの出し物がずらりと並ぶフェスティバル会場となっていました。会場は多目的教室2つにまたがり、一つ一つの出し物には心のこもった手作りのお土産までが準備されていました。40分間という短い時間ではありましたが、普段なかなか接することのない子どもたちと触れ合い、童心に帰り、久々



フェスティバル会場

に楽しいひと時を過ごさせて頂きました。皆さん「楽しかった。」「上手に工夫してくれていた。準備も大変だったと思う。」「パソコンを利用して、器用に使っていた。今の子どもたちは凄い！」「親切に教えてくれて嬉しかった。」等々と感想を話してくださっていました。

今回の「すこやかフェスティバル」は、子どもたちと地域の方々を繋ぐ接点として、学区社会の顔見知りの関係性を広げ、お互いを知り、より良い人間関係を深める要因になったと思っています。今後もこの様な機会が継続されますことを期待いたします。

4年生の皆さん、担任の先生の方々、楽しいイベントをありがとうございました。

防犯推進委員のご紹介

北防犯推進委員協議会

紫明支部長 山田 祐仁

皆様、防犯推進委員をご存じでしょうか？警察署長からの委嘱で、地域における安全・安心な環境の実現を目的として活動するボランティアです。警察署の再編以前からある制度ですが、昨年「北防犯推進委員協議会紫明支部」として、紫明学区の各種団体に加入させていただきました。月1回、学区内を巡回する防犯パトロールのほか、年数回、北大路駅周辺での啓発活動などを行っています。任期は2年です。現在、委員数が少なくなっており、中でも積極的な活動に参加できているのは若干名という状況です。

また、北防犯推進委員協議会では現在、全学区への青パトの配備を目標に掲げています。青パトとは、青色防犯パトロール、青色回転灯を装備した自主防犯パトロール車両です。車両と運転手を登録し、地域を巡回します。

地域のためにご協力いただける方は、ぜひお申し出ください。



地域スポーツ参加のお誘い

紫明体育振興会

会長 山田 祐仁

紫明学区民親睦大運動会は、4年ぶりの開催となった昨年度に続き、今年度は効率的な運営を目標に進めて参りましたが、多くの皆様のご参加・ご協力のおかげをもちまして、成功裏に終わることができました。コロナ後の運動会の在り方に一定の答えが出せたのではないかと思います。本年度の課題を踏まえ、次年度はさらに改善をして参る所存です。

一方、土曜・日曜・夜間の各種スポーツ活動の参加者は減少傾向にあり、活動休止となっているスポーツもあります。また北区・京都市の各種スポーツ大会も残念ながら軒並み不参加となっております。紫明体育

土曜・日曜・ ナイタースポーツ一覧

グラウンドゴルフ：日曜、水曜（夜）
テニス（ソフト・硬式）：日曜、火曜（夜）
バドミントン：日曜、土曜（夜）
バレーボール：金曜（夜）
卓球：日曜、水曜（夜）
太極拳：土曜

※詳細は別途閲覧いたします。

振興会本部役員でも、積極的な広報に加え、皆様からの声を踏まえ課題に対応して参ります。皆様ふるって参加いただければと存じます。

本部役員、運動会の協力委員につきましても、新たな担い手を募集しております。何卒よろしくお願いいたします。

紫明消防分団の取り組み

紫明消防分団

分団長 山田 祐仁

能登半島地震を契機に防災意識の高まる中、紫明消防分団でも大規模災害発生時の活動を想定し、入団促進、装備等の整備、教育・訓練の強化といった備えを進めております。

紫明消防分団の団員数は、定員20名のところ令和5年度末には10名まで減少しました。令和6年度は15名を目標に新入団員の募集を強化した結果、5名増、1名減の14名で年度末を迎えましたが、新年度早々に新入団員をお迎えできる見込みです。引き続き定員の20名を目標に募集をしております。日本国籍を有する18歳以上、性別不問、学生さんも歓迎です。

また3年後には、コロナ禍での中止を挟んで22年ぶりに、北区の代表

として京都市消防団総合査閲への参加を予定しております。団員数の確保、例年以上の訓練に加え、地域の皆様のご支援なくてはならない行事となっております。何卒よろしくお願い申し上げます。

消防分団

後援会からのご報告

紫明消防分団後援会

会長 井上 誠二

日頃は、紫明消防分団ならびに後援会に暖かいご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、江戸時代の消防組織は「振袖火事1657年」以後、定火消^{ジョウビケン}、大名火消などが編成され、1718年、大岡越前により町火消が登場します。時代劇のアノめ組、47組です。活動経費は、幕府ではなく、全て町の負担でした。町民が暮らす地域はもちろん、武家地での消火活動も認められ、町民の花形とも言われました。江戸の街を火災から守る自覚と誇りが、原動力でした。

現在、消火活動は行政の消防局が担当しますが、町内の火災予防・防火活動・緊急時対応は、地域の我ら消防分団が多くを担っています。

その活動には、少なからずコスト

がかかります。そのコストを賛助金という形で、皆様から協賛いただいております。

今期も分団は、巡回広報・防火予防運動・団員の必要な知識と技能の習得・放水訓練・祭りやイベントの警備・山林火災防御訓練・出初式など、様々に活動してまいりました。

今後も、紫明学区民の安全と安心を守り育ていく為に、紫明消防分団の活動を応援し、団員方々の支援をお願い申し上げます。

令和6年度

保健協議会の活動

紫明保健協議会

会長 柴山 泰朗

日頃は紫明学区の保健衛生、環境整美に何かとご協力をいただきまして有難う御座います。

保健協議会の年間の活動の一つとして、学区で長年定着しております使用済みてんぷら油、乾電池の回収があります。奇数月の第4土曜日に紫明校正門前とくららハウディ駐輪場で9時半～10時半の1時間行っております。各町の保健委員2名に手伝って頂き、毎回10数名の方が来られます。又、学区民に好評の移動式拠点回収を、大谷大学南側のむくのき広場

で年5回、2時～3時の1時間行っており、今年度の開催状況は次のとおりでした。4月26日来場者66名回収量207kg、6月21日32名160kg、10月4日39名71kg、2月14日40名206kg、11月29日39名208kg。回収品目は古着・蛍光管・小型家電・陶磁器・リユース瓶・刃物など18品目になります。

その他、保健衛生、環境整美に関するチラシ、ポスターの回覧、掲示をしております。

皆さんの協力で紫明学区を安心、安全でより良い住みやすい街にしていきたいと思えます。今後とも環境意識の高い、美しい街、紫明作りにご支援、ご協力をお願い申し上げます。

地域住民の皆さまの ご協力を得て

紫明学区民生児童委員協議会

会長 小林 純子

紫明民生児童委員としてこの1年、支援を必要とされる地域住民の方を様々な関係機関につなぐために、「気づき、つなぎ、支える」という合い言葉のもとに活動をしてきました。

最も大切な最初の「気づき」は、紫明学区にいる16人の民生委員だけではとても手が回らず、地域の皆さま

まからお寄せいただく情報が大きな力になっています。また、変化していく社会に対応していくための学びも必要となり、月に1～2回ある研修会や講演会に参加して、少しでも知識を深めたいと思っています。

「紫明地域ケア会議」では年に1回、鳳徳包括支援センターの指導の下、老人福祉員さんと一緒に各担当地域の高齢者の情報を交換し、活動に役立てています。また、7月の「紫明夏まつり」、9月の「敬老会」のお手伝いを通じて、地域の方々との絆を深めさせていただきました。

今後とも紫明学区にお住まいの皆さまのご協力をいただきながら、少しでも住みよい町づくりのお手伝いのできればと思っています。

千歳会の楽しい盛んな活動

千歳会連合会

会長 津田 正美

千歳会連合会（第二千歳会、第六千歳会の2つの老人クラブの連合会）は今年度、自主的活動として、①4月1日 賀茂川の桜を観る集い55名の会員が、春のうららかな陽ざしの下で、おしゃべり、お弁当と飲み物を頂きながらの気晴らし・

気分転換や、豪華な賞品が獲得できるビンゴゲームに興じ――

②9月9日 健康講座 会員の看護師による「元気で長生き！認知症は怖くない」の講演会

身近で役に立つ認知症の知識満載のお話を会員23名が拝聴し――

③10月9日 地域奉仕美化活動

学区内の小学校、幼稚園、保育園、

幼稚園に会員が一心に縫製したタオル雑巾を寄贈し大変感謝され――

④10月21日 地域奉仕清掃活動

会員15名が上御霊神社境内の除草を行って気分爽快に――

⑤先日の3月8～9日 京都市すこやかクラブ（市老人クラブ）主催の作品展

千歳会会員10数名が書道、絵画、手工芸品等々、趣味を超えた見事な自信作を出品して、多くの市民の目に触れ――

というような活動を行いました。

また、参加型活動としては、旅行、ウォーキング、低い山登り、ハイキング、グラウンドゴルフ、ボウリング、コーラス等、心身の健康と体力保持やストレスが解消できる活動が目白押しに行われています。

是非とも会員になって頂きご参加下さい。楽しいクラブですよ！お待ちしております。

一年を振り返って

紫明学区自主防災会

会長 岡本 良一

自主防災会は紫明学区の安全安心を守るため地道に活動を続けてきました。

令和6年度は、夜間見回り活動を毎月15日に実施（雨天中止）して、燃えるゴミが出ていないかもチェックしました。

町内防災訓練も数カ町回らせていただき、AEDや消火器の使い方を指導しました。ただ、ご町内の参加人数が少ないケースもあり、是非ご町内のご協力をいただきたいと思います。

7月には紫明夏まつりに協賛し、消防署の協力を得て起震車で地震体験をしていただき大好評でした。

11月には総合防災訓練を実施しました。全町内から200名あまりの参加をいただき、紫明校体育館で避難所運営訓練を実施しました。避難所の運営をどうするかを学んでいただき、段ボールベッドの組み立てや避難所入所者届の作成をしていただきました。

自主防災会ではあらゆる機会をとらえて紫明学区住民の安全安心のための取り組みに微力を尽くしていま

す。引き続きご支援ご協力をよろしく
お願いいたします。

令和6年度賛助会員ご報告

紫明社会福祉協議会

会長 柴 山 泰 朗

北区社会福祉協議会の賛助会員募集には、学区民の皆様や企業・団体様のご協力により、個人164件（17万6千円）、町内会6件（6万8千円）、寄付1件（千円）、企業・団体23件（23万円）、計47万5千円のご応募をいただきました。全額を北区社会福祉協議会へ納入いたしましたことをご報告いたします。

この賛助会費は、高齢の方や障害のある方、子育てや介護をされている方々のふれあう活動や支え合う活動福祉の輪を広めるための広報・啓発活動や研修事業の実施のための財源となります。また、各種団体などが行う福祉事業への助成支援など、区民の生活に密着した活動を行う大切な財源にもなっています。

趣旨にご賛同いただき、ご協力いただきましたました個人、町内会、企業・団体の賛助会員の皆様、そして会員募集にご尽力頂きました各町の町会長様、福祉委員長様には厚く御礼申し上げます。

令和6年度 各町賛助会員・会費明細

町 名	件 数	世帯数	金 額	町 名	件 数	世帯数	金 額
下内河原町一区	13	83	13,000	西大野町	3	48	3,000
下内河原町二区	町内一同	41	10,000	南大野町	8	87	11,000
北上総町西部	—	38	0	堀池町北部	8	61	8,000
北上総町東部	町内・個人7	36	17,000	堀池町中部	6	89	6,000
下板倉町	1	88	1,000	堀池町南部	5	71	5,000
西上総町	町内一同	41	15,000	鞍馬口町	12	32	16,000
北大野町	4	33	4,000	天上町	9	69	10,000
下花ノ木町	3	89	3,000	新御霊口町	8	102	10,000
下初音町	2	42	2,000	新御霊口町中部	3	74	3,000
下内河原町三区	7	61	8,000	上江町	—	56	0
松ノ下町	町内一同	50	10,000	下総町北部	4	26	4,000
上総町	1	32	1,000	下総町南部	2	37	2,000
東花池町	4	62	4,000	小山町	町内一同	35	13,000
西花池町	2	33	2,000	下総町西部上町	17	32	17,000
南上総町東部	1	28	1,000	下総町西部下町	4	39	4,000
南上総町西部	5	66	5,000	中溝町西部	1	36	1,000
東大野万屋町	2	37	2,000	中溝町東部	2	37	2,000
東大野町巽部	5	39	5,000	中溝町	12	30	12,000
東大野町北部	寄附	32	1,000	長乗町	2	34	3,000
東大野町南部	町内一同	36	10,000	上清蔵口町	1	32	1,000
40ヶ町合計				個人164 寄附1 町内6	1,994	245,000	

令和6年度 企業・団体賛助会員名（順不同・敬称略）

- 崑むら呉服店
つかもと眼科医院
京都鞍馬口医療センター
京都中央信用金庫北烏丸支店
かみふさこども園
京都聖徒教会
野崎印刷紙業（株）
ゆりかご WEC しおん保育園
- （株）大垣書店
きしもと矯正歯科クリニック
京都からすま病院
上善寺
立命館小学校
（財）新村出記念財団
公益社 北ブライトホール
レーコ美容室
- 福井歯科医院
大友整形外科医院
京都信用金庫鞍馬口支店
天寧寺
大谷大学
京都トヨペット（株）北店
京都府部落解放推進協会

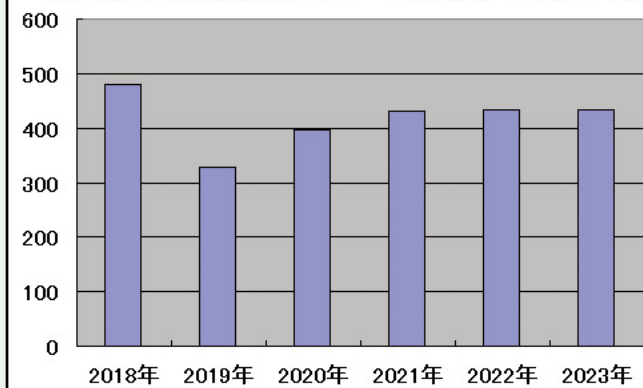
紫明センター利用の 活性化に向けて

紫明センター管理運営委員会

会長 前田 健治

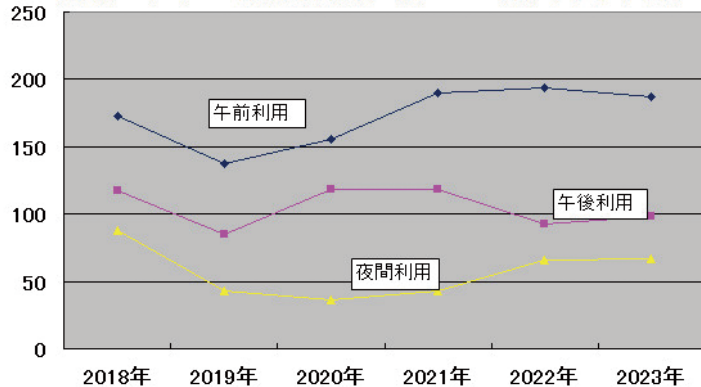
昨年度実施したセンター外壁補修工事は、京都市北区役所と京都市消防局より補助金を受け、積年の課題を果たすことができました。大変ありがたいことだったと感謝いたしております。

利用額合計推移(4月～12月)(単位:千円)



(図1)

紫明センター利用件数(4月～12月)(単位:件)



(図2)

今年度については、大きな補修工事等もなく、コロナ対策費も通常の経費で処理することができました。

センター利用の状況については、図1のように、コロナ禍を過ぎて、最近3年間はほぼコロナ以前の水準で推移しています。一方、時間帯別の利用件数では、図2のように午前利用が多く、夜間利用は少なく、午後の利用は中間という状況です。地域の方々の利用は夜間が中心になるとの予想に反し、実際は夜間が

かなり少ない状態です。その要因を考えると、①センターを利用するニーズが少ない②地域活動そのものが縮小化している、という二点がその主な要因ではないかと思っています。これを改善するには、センターの機能をアップして、より魅力を生み出し、地域の活動を引出すような仕掛けが必要なのでは、と思います。今、センターの利用のネックは、センターが畳敷きであり、飲食ができない、という点にあります。今後の地域活動をさらに充実させていくために、センターの2階会議室を板張りに改装して飲食を可能とし、地域の人々に、より多くの団体の機会をもていただき、地域力を高めていくことを、大きな主題として取り組んでいきたいと考えます。地域の皆様方からのご意見をお待ちしております。

紫明センターご利用のお申込みは、左記までお願いします。

申込先 小林 幹男(福そば)

電話 四九二一一二〇

時間 九時～十九時

料金 午前 千円

午後・夜間 千五百円

尚、受付業務のお盆休止期間

八月十日から三日間

3つの募金の ご協力に感謝します

紫明日赤共同募金会

会長 藤井 一

紫明日赤共同募金会とは、日赤のボランティア団体である日赤奉仕団と京都府共同募金会の紫明学区での組織です。5月に日赤募金、10月に赤い羽根募金、12月に歳末助け合い募金を取り組んでいます。

今年度は紫明学区の皆様のご協力により、日赤募金が645,350円、赤い羽根募金が598,250円、歳末助け合い募金が555,600円集まりました。

日赤募金は日赤の国際復興支援や国内災害支援などに、赤い羽根募金は紫明学区を含めた京都府内の社会福祉活動に、歳末募金は年越しに支援を必要としている人々のために、それぞれ使われています。市民のボランティア活動の大切な一つと思います。

今年度の皆様の取り組みに心より感謝するとともに、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。



交通安全推進の1年

紫明交通安全推進会

会長 磯垣 昇

平素は紫明学区の皆様には紫明交通安全推進会にご協力を頂きます事、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

推進会では、①新入生通学交通安全、②紫明夏祭り、③中学年生自転車安全教室 の3つの大きな行事に取り組んでいます。



「止まれ」! -どうする?

毎年4月には、新入生通学安全教室を、会員、北署、安全協会の皆様の協力を得て、紫明校校庭で行っています。北署婦警さんから公道での歩き方・横断歩道の渡り方等のお話を詳しくお聞きし、ご指導を頂いて実践しています。

夏祭りでは、安全クイズを実施し、回答者にアーム反射板を進呈して、夏休みの交通安全推進を行いました。

秋には、近年自転車の公道での運転規制が大変に厳しくなってきましたので、3、4年生に、自転車運転の多くの事を学んで貰いました。校庭で仮設通路を再現し、交差点の曲がり方、信号の有る交差点での二段通行の仕方等を指導し、自転車運転の安全推進に努めました。

結びに、令和7年度も紫明学区にて事故ゼロを目指して交通安全に取り組んで参ります。紫明学区の皆様の一層の御協力をお願い致します。

こんにちは

高齢サポート・鳳徳です

鳳徳地域包括支援センター

竹内卓巳

平素は紫明学区の皆様には高齢サポート・鳳徳(鳳徳地域包括支援セ

ンター)の活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。高齢者の身近な相談窓口として介護保険の相談をはじめ、様々な機関やご家族等から多くの相談をお受けしています。民生委員さんや老人福祉員さんなど、関係機関の皆様と共に考え協力・連携し、地域ぐるみで皆様が安心して暮らせるための地域ネットワークの構築を目指し、地域の日常に寄り添う支援活動をしております。

事業所名には「鳳徳」とありますが、事務所の所在地は堀池町(紫明学区)にあり、紫明学区・鳳徳学区・出雲路学区を担当させていただいております。

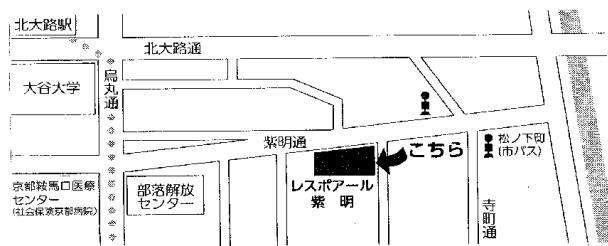
【高齢サポート・鳳徳 相談窓口】

住所: 京都市北区小山堀池町10番地 レスポール紫明102

電話: 075-223-3511

営業日	営業時間
月曜日～金曜日	午前8時30分～午後5時15分

※土曜日、日曜日、祝日及び12月29日～1月3日は休業します。



紫明学区の皆様が一日でも長く住み慣れたこの地域で元気に暮らしていけるようお願いの心で接し、温もりのある相談支援活動を今後も続けていきたいと考えております。

最近ご様子がおかしい、見かけない、郵便がたまっている等、お気づきのことや気になること。介護予防教室に行ってみたい等々ありましたら、遠慮なく当包括へご連絡を頂戴できればと思います。

今後とも宜しくお願い致します。

編集後記

○100号を一つの区切りに編集体制を刷新し、構成を斬新に変えようと意気込んでいたが、年度末ということで各団体からの報告が並び、例年と変わらぬ内容となっていました。次号はどのような縛りがあるまいので、乞うご期待?

○京都市北区社会福祉協議会のホームページの「北区の住民の活動」に紫明学区のページがあります。これまであまり使われていなかったようですが、前回の本紙100号を含め、今後、様々な情報をアップしていきたいと思っています。これも乞うご期待?

(K)